

入賞作品

小學兒童實話

人

道路の尊さ

大分縣大分市

末武快自

それは何と言ふ思出深き一人の道路工夫であらう。背の高い色の黒い四十餘のお叔父さんである。毎日々々雨の日も風の日も夏の炎暑も冬の北風も厭ふ事無きが常であつた。圓頭に向鉢巻をし印バンテンを着て道路の草を取つたり凸凹を直してゐる。工夫の額には汗が一ぱいであつた。僕は毎日學校より歸りに此のお叔父さんの動靜を見なかつ

た日は殆ど無いと言つても良い位でした。だがしかし其のお叔父さんの名前も住所も分らないのが残念であつた。だが僕の心の奥のカメラには燒附けてある。僕は此のカメラを心の中より取出して見る時、空の彼方に空々寂々たる幻影が見えた。僕は道路の上を歩く時あんな工夫が汗を流して造つたのだと思ふと僕は何んだか頭で歩いて居る様だ。だが一般の者が其の使用に馴れて居て道路に對し何等の尊さを持たないと言ふ事は實に残念な事である。

始めて道路を造つた昔の人は一通な苦心でなかつたらうと思ふとたんに眼前に浮んで來るのは心のカメラに燒附けられて居るあの工夫である。

工夫は國運發展の一線に立つ居る者であらう。僕は日本の道路の開發が盛大である様祈る。

道路改良會萬歲……………。

道路愛護

石川縣羽咋郡志雄尋常高等小學校

尋五 林 外 男

僕等が何時も歩いてゐる縣道や村道がなかつたり、あつてもその道路に凸凹があつたり、ごみすてばのやうにきたなくて、からつ物が散らかつてゐたなら、誰がよるこんでそこに住むであらう。しぜんに入通りが少なくなつて、本當のごみすてのやうになつて、方々の町村に知れたら方々の町村の人は、我が町をおぢよくするに違ひない。

それと反對に縣道や町村道がこまかい所まできれいに、道はかまぼこ形で、雨が何時降つてもふちへ流れこむやうになつてゐるとしぜんに入が住居をするやうになる。そんな町はだんくとはつたつするであらう、そうして他の町村が手本にするやうな町村になるであらう。

此のやうに町村がはつたつするか、しないかのくべつは道でできるやうなものですから、道路愛護の必要をしつかりと心につかんで、我が町を、羽咋郡第一の道、いや石川

縣第一の道にするのは我々少年少女のせきになんである事と僕は信じます。

道路愛護日

石川縣羽咋郡志雄尋常高等小學校

尋四 木 井 章

學校からかへつた。手足を洗つて、晝御飯を食べた。御飯を終へると急いでべぶらと箒を持つて午後の集合場所である材木置場に集つた。全員四列にならんだ、一番年上の人が指づした。僕等の五人の組は河原出をせよと言ひつけられた。北川君の家の所を掃除してゐるとよそのおぢいさんが「美しいのにはいてゐるな」と言つて通つて行かれた。一生けんめいに働いた。のどがかはいたので、河原出の冷たい井戸の水をのんで又せつせと働いた。すると其處へ池田先生がおいでになつて見て行かれた。ごみや草を十二はいもすてゝきた。

人夫の人達は此の間の大水に流れた水雷橋をかけるのか「よいいとどつぱい」と勇しいかけ聲が聞えてくる。

ようやく道路掃除の全部を終つた。

こんどは公德箱をこしらへようと言つて、箱をてんでに出しあつて繪の具で「公德箱」とかいてその下に久保町少年團と書いた。よこに「あぶなき物は」とかいた。あぶない物を此處へ入れやうといふのだ。公德箱の配置を終つたのは五時過でした。

これで今日の作業を終りました。

赤い夕日をあほいで、よい氣持になつて家へ歸りました。

我等の道路愛護

石川縣羽咋郡加茂小學校

高二 泉 美代子

カラリと晴れた日曜日。朝食をすまし、竹箒を手にして道路掃除にと急ぐ。

すつきりとした空氣。涼しい朝風が身にしむ、大勢の友

達は皆それ／＼に勇んで集る。楽しい中に元氣が思はず出て、これが作業であるなどといふ心はちつとも起きない。サラ／＼木の葉、藁くづ、馬糞、道に散らけてゐる塵埃は貴いこの竹箒の先で少しの間に掃き寄せられる。最後に塵を取り溝の中もさらへられる。

我等の道路はいよ／＼心地よく清められた。やがて自轉車の人が通る。野良の田圃へ鋤をかついで行く素足の人が通る。朝草刈りの歸りの馬が、露の白玉をふくんだのびびとした草を背一ぱいにかついで通る。皆無言の間にこの尊き私達の勞働に限りない感謝の意を表してゐるかのやうに見える。

一年前よりこの仕事が繼續されてゐるので、作業に出ない低學年の生徒も箒を持つて來るものもあれば、ちつと見とれてゐる者もある。

我等の愛護すべき道路、御國の道路は、又この幼い人たちにも愛護されて段々と立派に清掃され、修繕されて、交通上一段と利便を加ふると共に産業も興ることと思はれ

る。

第一日曜日と第三日曜日の月に二回のこの作業はどんなに村として嬉しい事であらう。

日曜日の朝の一時間はこうして有効にすごされる。箒を肩にして家へ急ぐ時の氣持よさ兩側の芝草は路と共に掃かれて、一入鮮緑の色をまし、清掃された道路には、美しく箒の跡が置かれて居る。

道路愛護

山形縣東田川郡黒川小學校

尋六 畑山 袈裟雄

今年四月頃私が夕方大杉から家へ歸る時宮ノ下の人がソリに木を積んで下りて來ました。其の時は山登の人が多かったので雪道は大變悪くなつてゐましたのでソリが掘れてゐる所に入つて、ソリはこわれてしまひました。私と青年團の

人と一しよに來たのでみんなで上げてくれたので其の人は

「ありがたう」といつて、ソリを直して行きました。だんだん歩くと道が悪くては人々は大變難儀をします道路は大切な物である事を考へ出しました其の翌日には山に來る人はそれ〴〵道を作る道具を持つて來て直してゐました。そんなにして人々は道路を大切にしているのであります。

我が寶谷村にも昭和八年に新しく道路が出來ました。又楯大杉間にも新しく道路を作りました。

道はだん〴〵發展して來て楯寶谷間に新しく出來たのも人間に取つて必要だからであります。我々人間は道がなくでは生活する事が出來ません。

道路が良くなれば村の産物も多く方々に積出されます。それで私の家でも馬車を買ひ米を運んだり木炭検査後には炭を運んだりするやうになりました。

私達は道路に感謝の念を起します。それで私達少年團は去年より、坂道の所々に「道路の恩を知れ」「道路に感謝を捧げやう」「道路を愛しませう」「道路愛護」などの立札を立て

たりしました。其の立札は、人々が道路を大切にするやう感謝の念を起すやうにしたのであります。又今年も、こわれたのを直したり、縁の草を取つたりしました。それから石を一つ道から下したら五つ上げたり冬には馬や牛の足あとをうづめたりしました。又道ぶしんをしてゐた人達に清水から水を持つて来てやつたりしました。昨日も道ぶしんをして道が大變よくなりました。

私達が立札をしたので人々は大變道を愛して大變有難く思つて居ります。

我等の道路を愛しませう

山形縣東田川郡黒川小學校

高一 上野 袈 裘 吉

我が黒川村の道路は餘程よくなりました。それでもお隣の齋村よりもよくないやうです。私は道をきれいはくこ

とも屢々ありますし、草をとつたことも馬糞を集めたこともあります。馬車や自動車の車ぼれに川や小川からじやりをとつて来て修繕したこともあります。こんな風に自分の手で道をなほすと餘計道路の大切なこともわかるし、どうしても愛さないではいられません。

楯部落と大杉部落との間の道は近來めつきりよくなり、私共が通る度に氣持よく自轉車の輪が廻ります。これは昭和九年の十月頃につくつたのだそうです。以前にはぐるぐる遠廻りをし石がごろ／＼してとても氣持が悪るかつたものです。又椿出、松根間の道路も眞直して石も大分沈みよくなりました。こうした立派な道を通る度毎に私はこれをつくつてくれた村人達に對して感謝しなければならぬと思ひます。

我が黒川村は春日神社、謡曲能樂で名高い故に参拜者や觀覽者が多いので、それ等の人の先づ目につくのは道路です。村に於いての一番初めの感をよくすることは大切なことだと思ひます。

私は大人になつてからもよく私共の通る道を大切にし、我が黒川村をして立派な道路村にしたいと思ひます。

道 路

北海道勇拂郡占冠村小學校

田母神慶一

道の雨がはゝたんぼゝで眞黄だ。其の間を眞すぐに道がつゞいてゐる。

友と二人で語りつゝ道を歩いてゐると「ばちゃん」と友は水たまりをふんだ。

僕はこんな水たまりがあると道路もいたむし人にもめいわくだと思つて、水たまりを足でけすいにながした。

もとは、この様であつた道路も今はおとよしの工事で道はゞもひろがりたいらなりつばな道路となつた。

この工事には家のお父さんも出て働いた。村の人皆で造つた道だ。村の人の魂のこもつてゐるりつばな道だ。

町のコンクリートの道よりもりつばな魂造りの道だ。

僕達生徒は、毎月十五日を道路愛護日とさだめて道を造つた人の萬分の一の恩にむくいようと、全生徒は、ほうきてに／＼道路そうじをする。

きれいにはきこなされた道路をとほる時に僕達の心は、たゞ道路の有難さ道路を造つた人のことで心一ぱいでゐる。

道路は我等日常生活に大切であることはもちろん、あらゆる時に活用されてゐる。此の有難い道路に對して我等は感謝の念をもつて道路愛護の實をあげ道路發達をはからう。

道路愛護の實踐によつて
得たる効果

香川縣三豊郡詫間尋常高等小學校

高三 鎌倉竹三郎

私の村では毎年道普請をしてゐる。而し全村統一して行くのでなく、各部落々々で區長が随時定めて行つてゐる。これは道路愛護の實踐として私の村では重要な年中行事の一つである。

ある日。道普請を明日の七時からするから一家に一人づゝ來てもらひたひ」といふ意味のお知らせが區長さんからあつた。明日は父が是非とも隣村へ行かねばならぬ用事があるのだが幸にも日曜日であるので、父の代りに私が行くことになつた。

六時半頃。私は鍬をかついで朝露を含んでしつとりとした小徑を通つて集會所である閻魔堂へと急いだ。

行つて見ると。まだ誰も來てゐないので床机に腰をおろして待つてゐると、彼方から三人此方から四人と段々大勢の人が集つて來た。

應て區長さんの指圖で八十人餘りの人々は八方にわかれて道普請は始まつた。

道普請は除草や凸凹を平面に直したりして清潔にし又實

用に便利よくするのが目的であるから午前十時過ぎに作業は完全に終つた。

この道普請で一年間蓄積された汚物は除かれ、利用に不便であつた凹凸は平面になつて、新しい空氣が四邊に満ちくゞて道路の黒土は心行くばかり日光を吸つてゐるやうである。

暫くして閻魔堂で大勢の部落の人々と別れて今普請をした許りの新鮮な道路を欣々として何時にない軽い足どりで歸つた。

この道普請があつてもう一年になる。

私はこの時から道路の重要な事を、そして愛護を改良を我等の手でしなければならぬ事をハッキリ知る事が出來た。この心情は道普請に参加した者に共通な事と私は確信してゐる。これが道普請の眞の目的といふべきであらう。

道路の益々布設されて行く今日、親愛なる同胞よ、自覺して共に進まう、燦然として輝く道路愛護の仁道を。

道 路

仙臺市木町通尋常小學校

尋五 齋 藤 信 子

お祖母さん達がよく「私たちが小さい時は仙臺の道路な
んか、こんなにまで美しくならう等とは夢にも思つて居な
かつたよ。」とおつしやつて居る。ほんとうにさうかも知れ
ぬ。仙臺の中心に近い方はぜんぶアスファルトやセメント
で出来てゐる。郊外のやうに塵はたゝないし雨が晴れゝば
すぐ草履で歩ける。これ程までにするのにはどんなにお金
がかゝつた事だらう。

こんなにつばな道路へも心ない人々によつて捨てられ
る紙屑を見る時勿體ない事のやうに思ふ。市民が心を一
して道路をきれいにする事に心がけたら、どんなに美しく
榮える事であらう。

道路は身體の血管のやうなものである。血管が悪くなる

と身體の具合が悪くなるやうに道路の不潔はどれ程市の發
展を邪魔するか知れぬ。

これ程りつばになつた道路を尙一層きれいにするために
私共はもつと心をひきしめなければならぬ。

道

新潟縣北魚沼郡泉水尋常小學校

尋五 廣 井 新 太 郎

私たちの學校から少しばかり離れた所に大道が通つてゐ
ます。それは車、自動車、自轉車なんでも自由に通ること
が出来る大きな道です。乗合自動車や貨物自動車を通れる
やうになつてゐる爲に、どんなに人々は便利だかわかりま
せん。

一昨日小千谷の人と、親類の家が棟上げだつたので小相
川の方へ餅をくばつて行きました。其の時私は「この道は
こんなに坂のやうだが通つて見るとそんなでもないね」と

云ひますと、「うん」と云つて「この道は、おれが丁度お前位の時に出来たのだ。毎日毎日風が吹いても、雨が降つても日が照つても少しも休まず、山を切つたり土を運んだりして長い間かゝつて仕上げたのだ」と云はれました。

私はその時はじめて今までなんの氣なしに通つてゐた道が有難く感じました。「どんなに重たい荷物をのせた自動車が通つても少しも崩れない道、自動車のすりかへの樂々出来る廣い道、それがこんなに苦心して作られたのか」と思へば。今でも村人が道普請をしたり、人夫が砂利をしいたりして時々道の手入をしてゐる。

私たちはほんとうに感謝しなければならぬと思ひました。そして私は又昔の道がどんな道だつたらうと思ひました。

この道がなかつたとすれば今の山の上にある様な道ではなかつたらうか、雨が降れば崩れたり、すべつたり。そして春になれば、こはい毛虫が澤山出たり蛇がゐたりして

……。こう思ふといよ／＼今の道が有難くなりました。私たちの村から大道へ一昨年从去年にかけて新しい道が出来ました。この時には村の人々は自分の仕事などをなげ出して道を作りしました。それは、ほんとうに苦勞をして作りました。そして良い道が出来上りました。

この様に良い道が出来たので、村の人たちは、外に出るに餘程便利になつて、村の爲には大變役に立つた道でした。それは村中力を合して村の發展のために作つた道でした。今年の春雪の爲に少し崩れましたがすぐになほしてしまひました。

大道も新道も皆村の爲には大變役に立つてゐます。殊に大道はそこを通る旅人は、どんなによろこんで通つてゐることだらうと思ひます。

私は始めて道の有難さを知つて今度は私も進んでガラスかけやその他の危いものをのけたりして感謝することにきめました。

それは又村の爲にもなることだと思つてゐます。

共同の力

神奈川県高座郡綾瀬尋常高等小學校

尋六 森 山 安 良

學校の前から東郷元帥祖先の發祥地である城山までの道約一軒を村の人は東郷道路といつてゐる。

僕達がいづも學校へ往復するこの道路は、新道のためか昨年の春からとても草がはえて僅かに人の歩くところだけ細々とあいてゐるだけであつた。

毎朝學校へ來るのに靴や足まで露にぬれ其上黒いほこりがついて實にこまつた。荷車もガタンガタンと大きな音を立て原へ出られる村の人達も難儀をされる。

或日、早川神社に部落自治會を開き實行要目をきめる時、先生が、

「東郷道路にあんなに草が生えてゐるので天氣のよい日にむしつてはどうだらう。」といはれた。そして

「賛成の者は手を舉げて。」と皆の意見を聞かれた皆はすぐに「ハイ」と手を舉げたのでいよく實行することにきまつた。

それから四日目の天氣のよい日の放課後原の三本松の所から草退治を始めた。かばんは皆一つ所へ置いてやつた。顔を眞赤にしてうん／＼引張つても根を強くはつてゐる草はこげない。そんなのは高等二年の者が鋏でけづる。女生徒はその草を片づける。こうして遠くまでつゞく原道を大勢の力でずん／＼すゝめて行つた。通りがかりの人達はうれしそうに「御苦勞様」といつて行かれる。やう／＼終に近づいた頃皆いやになつたやうなむしり方をしてゐたので先生は「もうすこしだからやれ／＼」と勵まされた。とう／＼やり終へた。その時今むしつた後を振返つて見るとずうつと向ふまできれいになつてゐた。

共同の力でやればこんなに早くきれいにやれるのだとつく／＼思つた。

それから天神社の清水で手を洗つて家にかへつた。

その翌日校長先生にほめられ僕達は何んといつてよいか分らないやうに嬉しかつた。

道路の改良

仙臺市木町通尋常小學校

尋五 男 澤 小 枝 子

去年の夏、都のやけつくやうな暑さをさけて故郷へ歸りました。

自動車は山坂の凸凹道走つて、成澤まで行くと其處から先は自動車を通じないのです。自動車から降りて行くこと一里、道はいよゝゝ嶮しくなつて石ころにつまづき草の中に細道を尋ね、泥深い小道に行きよんどんだり、汗は瀧のやうに流れて来る。息がはずむ。つかれた足をひきづるやうに父の生れた家についたのは、夕陽が山の端にかくれた頃でした。途中米をつけた馬が、あえぎゝだが鞭の音に

驚きつゝ、くの字なりに上つて行くのを見ました。

道路の悪いといふ事が人馬の交通にこれ程影響するものなることを、この時ほど深く味つた事はありませんでした。

昔、未開の時代に名ある人が山道にふみまよつたといふ父の寝物語や、となりの町に薪を賣りに出かけるのにひどく難儀したものだといふ父の若い頃の話などを成程と思はせられました。今でさへも隣村迄出るのに一日がかりなのです。

文明が進歩するにしたがつて道路もよくなつて行くものだそうです。逆に道路のよくならないのは文明が進歩しないやうです。こう考へると道路の改良といふことは一日もすてゝ置けない事だと思ひました。

草深き田舎道の改良されるのはいつ頃なのでせう。山村の人々の目の覺める時はいつ来るのでせう。

道路愛護

福岡縣嘉穂郡二瀬町片島尋常高等小學校

高二 久保山 マサ子

「バン」と大きな音がしました。振りかへつてみると、自
轉車に乗つた人が、びんのわれで、ばんくをしてしまつた
のでした。私は、氣の毒に思つて、すぐ拾つて、塵捨場に
捨てました。青の洞門を開いた、禪海のやうに、大きなこ
とは、私達には出来ませんが、石一つ拾ふも紙一枚拾ふも
びんのわれを拾ふも、始は一人助け二人助けて、或は國を
愛する本になります。道路工夫の人が一生懸命になつて造
つてくれたよい道を、私達が悪くすると思つたら、石一つ
でも拾はなければならぬようになります。道路を愛する
のは自分も、良い道を通ることが出来ます。皆で心掛け
ば道をちらかす事も、ないと思ひます。道に捨てられた人
の唾から、或は食物の腐敗から、澤山のバイキンがわいて

それがどんなに人々を苦しめてゐるかといふことも聞きま
した。小さい事だけれど、大きな波紋をつたへるこの仕事
を私達は何時も心掛けてゆかなければいけないと思ひまし
た。

ビンを拾つた後は、ほんたうによい氣持でした。

道路愛護の標語の前で

神奈川縣高座郡綾瀬尋常高等小學校

挽野俊一

僕達が毎日々々學校へ通つて行くには、一體何所を通つ
て行くのでせう。それは言ふまでもなく道路であります。
もしも道路がなかつたら、どんなに不便でありませう。山
を通つたり、又は畑を通つて行かねばならないでせう。
或日曜日の事でありました。僕が澁谷村へお使に行つた
ら辻々に立札がありました。何が書いてあるのかと思つて
見ると、それは標語で、「道を見て村を知る」道のぬかりは

心のぬかり」などと書いてありました。僕は全くそうだと
思ひました。そして此の村の人々は皆道路を大事にしてゐ
るに違ひないと思ひました。

僕は今まで道路を大事にしてゐたかどうかと考へて見ま
した。僕は今まであまり道路を大事にしてゐなかつたので
あります。僕は何だか澁谷の村民に對して恥しいやうな氣
持になりました。僕は此の立札の前でこれから一生懸命道
路を大事しようとたく決心しました。

道 路 愛 護

山形縣東田川郡黒川小學校

尋六 阿 部 房 子

黒川より約一里も山間に通ずる道路は私の部落へ行く縣
道です昔狼が澤山住んでゐた頃の道が今一部分残つて居り
ます。まるでトンネルの中の如くさびしいものです。私の
お母さんがお嫁に來た頃の道路は幅は六尺餘でしかも砂利
一つなく所々深くほれて一寸もゆだんして歩かれなかつた

さうです。其の後村の人達の骨折で六尺幅の道が二間幅に
なり、砂利も相當敷かれ今では自動車も自由に走る様にな
りました。何分けはしい山をきり開いた道路でありますか
ら、相當急けいしやな所もあり砂利一つ少なくなつても赤
川から上らせなければなりませんから、なか／＼たやすい
ものではありません。私は農村の振興はどうしても先づ道
路の完備からであると思ひます。道路が完備すれば産業も
發達すると思ひます。

昔の狼の居つた頃から縣道になる迄の私達の祖先の苦心
を考へて今の様な立派な道を通學出来ることを思ふと一日
も缺席してはならないし、一生懸命に勉強しなければなら
ないと思ひます。

そしてつまらないものを道路に捨てたり砂利一つなりと
もいたづらに捨たりする事は絶對やめなければなりません。

道路を大切にし又よく勉強すれば、苦心して、今の道路
につくり上げた人々に對して幾分でも恩を返すことになる

と思ひます。

無 題

宮城縣登米郡新田村新田尋常高等小學校

高 橋 信 男

僕等の小さい時は、自動車やオホトバイなどは餘り見ること出来なかつた。今は、昔とくらべると交通の繁華してゐる都會にでも行つたやうな氣持がする。それは縣道も立派に出来、家々をめぐる道路も立派に出来たからである。僕の家から計ると、東は停車場、西は廣々とした田をこえて、はつきりと奥羽山脈が見える。北は伊豆沼をこえて栗駒山が雄々しい姿を現し、夏でも尙雪がきえない、何千何百年たつても動かないやうにりとすわつてゐる。南は長沼をこえて北上山脈があり、其のむかうに南北兩アメリカがあるのかと思ふと飛上つて行きたいやうな氣持がする。

その中にはさまれた我が小さな村は、今は青々とした稲の色を見せ、青黄ばんだ稲のほを出してゐる。こうゆう青々とした稲の色を見せるまでには、昔の百姓たちは非常に悲しい苦しい目にあつて働いたものだ、と言ふことである。これは僕等の區の起りであるが區の北を通つて縣道は細く低い一度二度と雨が續く中に伊豆沼に満ち、ついには縣道にあふれて百姓たちが汗を出し、血を出して働いて作つた稲が今にも其の功を見せようとする時、水の爲にやられてしまうのである。百姓たちの心持はどんなであらう。どんなにがつかりしたか、落膽したかは察することが出来ないのです。それはまれに出合ふのであるが、來る年のことを思ふ百姓たちの心は、いつも心配で一ぱいになつてゐたことだつたらう。こんどはこれと反對に、水がなくなると言ふことである。僕はいつだか聞いたことがあつたが、毎日のやうに日はかんかんとなる夏の日に、百姓たちは、水くみをする。常には二時間休むのを今年は休まず、こうゆうまじめな心掛の百姓たちの働ぶりが目に見えるやうである。

悲しい、苦しい、様を通りぬけてやがて平和な世の中へと進んできたのは實に縣道其の他の道路のおかげである。二三年前に作られたかと思はれる縣道村道はきれいなので人々に若く見受けられるのである。我が區の生命線とも言つてよい縣村兩道は青年によつて道ぶしんされてゐるのである。一年に二三回は普通で、きれいにした後を自動車が目に見えなく走るのである。昔は急用、大切な用事の時は歩か自轉車で行くかであつた今はあの速力の早い自動車に乗つてどんどん用を達することが出來人々の心を安心させ安心した心を以つて、元氣一ぱい仕事に取りかゝることの出來るのは、道路交通機關のおかげである。道路が良ければ産業が發達し産業が發達すれば交通も盛になることがわかつた。實に道路は國の寶である。

x
x
x
x
x

道路改善

福岡縣嘉穂郡二瀬町片島尋常高等小學校

高一 尾上 ヨシエ

學校の裏門から出て私の家に行く道に坂があります。その坂は大へん石ころが多く、道がきたないので、私は毎日表の道を通つて來てゐます。

或雨の降る日、私が窓を明けて外を見てゐると、ふと目についたのは、小さい子供が大きな傘をさして、大きな風呂敷包を持つて坂をよろ／＼しながら下りて來る姿でした。私ははら／＼しながらこけなければよいがと思つた瞬間、どうしたはづみか石につまづいてばたりとこけました。

其の子供の包には、よほど大事な物がいづつてゐるらしく、いたいのも忘れて如何にも心配そうにかゝえて、なほ又着物のよごれたのを氣にしながらおぼつかない足どりでぬかるみの中を歩いて通りました。あの子はきつとしか

れるだらう。やさしいお母さまならいゝがなるといらく考へました。そして何故かいつまでもくも忘れられませんでした。雨の降る毎にあの子を思ひ出します。そして、きたないぬかるみの坂を見ては、あの坂がりつばな道であつたら、あの人もこけなくて、すんだらうにと思うと、今更ながら道路改善の事を深く感じました。

道路改善

福岡縣嘉穂郡二瀬町片島尋常高等小學校

高一 塚本シズ子

コツツン／＼雨が降らうが、日が照らうが、薄暗い洞窟の中に坐して、岩を掘り續ける老僧の姿が浮びます。彼の頭の中にはあのけわしい鎖の橋で、身命を落す可愛さうな人を救ひたいといふ氣持より他にはありませんでした。

道路愛護とか道路改善とかいふことを先生からおきしれた時今更の様に禪海和尚の尊い姿を思ひうかべます。

私は、道路愛護といへばあゝ「道路愛護デー」かと、思ひます。そして、皆一緒に出て道のこわれたところを修繕するのだな——と思ひました。

禪海和尚の事を先生からきいて、更にまた私自身の事を思つて見ました。

道路愛護は道修繕ばかりではありませんでした。

道に一つの小さい石が落ちてゐるのを拾ふことも一つの小さい道路愛護であります。又溝に石や泥の落ち込んで水の流れなくてこまつてゐる所を石や泥を上げ水の流をよくなるやうにするのもその一つであります。

ほんとうに人のためを思ひ、道路の事を思つた時、道路愛護は何時でも出来るのだ心掛けさへすれば、きつと／＼出来ることだと深く／＼感じました。

「私はどんなになつてもいゝがどうぞ此の道が出来上るまで待つて下さい」と頼んだ禪海和尚の姿が私の心の奥底に深く／＼きざみ込まれました。

新道が出来た

石川縣羽咋郡志雄町南邑知尋常小學校

零五 中 橋 勇 平

杉野屋向瀬間に新道が出来て山を通りすぎるのに隧道も出来た隧道はコンクリートで造られてゐてたいへんりつぱです。

今までは越中へ出るために峠を一ついやでも越さねばならなかつた坂は急で雨のふつた後はたいさうすべり、小さい子供はもちろん大人でさへ通ることがむづかしかつた。

それが今度三年の月日と數萬圓の費用をかけてとうとう出来たのです。

これからはらくに向瀬に出で越中に行くことが出来るのです。ほんたうに隧道一つが能登と越中とをつながせるやうになつたわけです。うちのお母さんも「新道が出来たので向瀬へお祭に行くのに骨折らないでも行かれる」とおつ

しやつて大いへんよろこんでいらつしやつた。

道路愛護日

石川縣能美郡下大杉小學校

高一 宮 下 壽 子

産業の發達を助け物の運搬を便利にするには先づ道路をよくしなければなりません。よく標語に「よき里によき道あり」とあるがほんとうにそうです。例へば山から炭を運ぶにつけても、車の通るよい道であつたら一ぺんに何俵でも運ぶことが出来るが、これと反對に道幅が狭く坂道であつたら、少しづつ運びながらも非常な困難です。こんなやうに道路一つで大へんな違ひになりますから、道路はつめて改良しなければなりません。近頃「道路愛護日」と言つて毎月十七日に村中一しよに朝早く大道をきれいに掃除します。私たちの村に村中彌平さんの道路をお造りになつた紀功碑があります。村中さんはけはしい峠を開いて道

路をお造りになつたのださうです。今日多くの人たちが、其處を通ることの出来るのも皆村中さんの、お骨折の賜物です。村を明るくするには道路を愛しなければなりません。

お医者さんが来られます

茨城縣稻敷郡君原村君原小學校

等四 小松澤 正英

それは四年ばかり前のうすら寒い冬の初めの日でした。二つになる僕の弟が急に病氣になつたのでした。熱が出てうはごとなどをいつてそれはくくくるしみました。その日は朝から雨が強いので隣りの家の人をたのんで木原までお医者さんをたのんでもらひにやりました。もうくるだらうと弟のくるしむのを見てお父さんとお母さんは心配しながらよく待つて居ました。

一時間三十分位して隣りの人が自轉車でビショぬれにな

つて、今日は雨が強いので道がわるくて自動車が行かれないとのことなのです。いくら待つてもお医者さんは来られませんでした。

それでも弟の病氣はお父さんとお母さんのかんびやうでやうやくなほりましたが、どんなに心配したか、わかりません。

その年の冬にはきうさい道路の村道が隣村の縣道から僕の村の學校まで出來上つたのです。

縣道のない僕の村に砂利道が出來たので僕は嬉しくて嬉しくてたまりませんでした。昨年お父さんのお腹の病氣のときもやつぱり雨でしたがお医者さんの自動車がやすく、と僕の家に來ました。これも村道のおかげです。医者さんのない僕の村も村道が出來たのでやつと安心が出来るやうになりました。

今ではトラックだの、かしきりだのが毎日僕の村へ來ない日はありません。

道路愛護

山形縣東田川郡黒川小學校

高二 蛸井 お清

私の家の前を眞直に縣道が通つてゐます。この頃もたび／＼縣工夫が道路のこはれた所を修繕して居りました。道路といへば私たち一般の人の生活上重要な物の内の一つにかぞへられてゐます。

私達は學校に行く時も歸る時も道路の左側を通つてゐます。私たちの隊では本年度の計畫の一つとして道路修繕を行ふ事にきめました。今年には道路がひどくこはれた所もないので、今までは修繕をしませんでした。人々が道路を愛する心にもとづくものであると思ふ。去年あたりは家々から道具を持つて來て、修繕をしました。

昔の道路と今日の道路を比較して見たら昔は道といふ道もなく人々は草のぼう／＼とはえた所を歩いたりしたもの

であらう。昔の人の難儀しんぐが思ひやられます。

今日の道路は幅も廣く平かであるき良い立派な道路が出来て來てまことに便利になりました。我等は道路に對して今さら感激の心が胸にわきいであるのであります。

今後道路はいよ／＼立派になるでせうが、それとともに我等はますます／＼道路を愛護しませう。

道を大切にいたしませう

山形縣東田川郡黒川小學校

尋四 五十嵐 和子

道は私達世の中の人のいのうちであります。それで一番大切です。道がなければどこにも行くことができません。道穴をほつたりしていたづらをする子供は大變悪い子供です。私達はいつでも同じ長い道を通つて學校にかよつて居ります。けれども道を歩く時によそをむいて歩くと、自轉

車や自動車にひかれたりします。それですから先生は「左側をとりになさい」といつてをります。自轉車や自動車がとほつてほれた所は直してやらなければ又々ほれて人があるかれないやうになつてしまひます。こはれた時は村の人が出てこしらへて上げますけれども大人の人ばかりこしらへるのではありません。私達もこしらへて上げなければならぬのです。道がなければ世の中はどうすることも出来ませんから、道は大切にしておたがひに歩るきませう。

自動車の難儀

神奈川縣高座郡綾瀬尋常高等小學校

尋五 田 戸 敏 一

一二年前の事でした。中屋敷通りの道は雨が少しでも降ると非常にぬかつたり、崩れたりして人々は大變難儀をしました。ある時一臺の自動車がそこを通り、ぬかるみをおさけやうとして道端の堀に落ちてしまひました。見てゐた

人はすぐそれを出してやらうとしたが、なかくてませんでした。するとさつきから大勢の人の中で見てゐられた酒屋のおちさんがふとたゞれたかと思ふと、自宅にあつた板や柱の古いのを持つて來られて「これをおつかひなさいよ」と言つてそれを大勢の人々に渡されました。近所の人々はすぐそれを借りて、自動車をすくひにかゝりました。酒屋のおちさんもづぼんをまくり上げて手傳はれました。かうして皆が力を合せたので自動車はやうく出ました。うんてんしゆは皆に、にこ／＼わらい顔をしておれいと言つて走つて行きました。僕はそのあとで僕等の部落にも心がけのよい人が多勢いるのだと思つてうれしく思ひました。

自動車は道が悪いために落ちたのです。數日の後に青年が顔にたまのあせを出してなほしてくれましたのでそれからばけして事件が出来ません。

× × ×

道

新潟縣北魚沼郡泉水尋常小學校

尋五 鈴木美千榮

昔の道と今の道は大變ちがつてゐるそうです。

昔はこの邊の道は今の山道位だったそうです。そして追剝や山賊なども居たので遠くへ行く時は刀を一本づつ持つて行つたそうです。それでも安心して通れなかつたので、信濃川を舟で往つたり來たりして通つたのださうです。それが今は反對で信濃川を舟で往つたり來たりしてゐる人は一人もありません。かへつて舟がひつくり返るかと思つて恐ろしい位です。

それは道が廣くなつたせいでした。道が良くなつたので皆歩いて道を往つたり來たりする様になりました。それは十八年位前に廣くしたのださうです。

去年あたりは砂利をまいて道を綺麗にしました。それで

すから今は安心して一人で通れる様になりました。

今はもう自動車や自轉車などがぐんぐん通つてゐます。

道は大勢の人々の通る大切な所ですから、いためたり、危いものを捨てたりしない様に氣をつけなければならぬと思ひます。

道路

佐賀縣小城郡中澤町小學校

梅崎千代乃

道と一口に云へば何ともない様であるが此の道一つにも色々な意味がある。兩側には、アカシヤの並木を植えた並木道、又は人道車道と別れ向側に行くにも、ゴウ・ストツプの命令に従つて行くといふ様な繁華な道や、或ひは農村にだけに見られるあぜ道等は、自分一人通るのさへ不自由な道もあります今此所に大きな道があつたとしてこれから先、二、三町行けば大きなあながある。とすれば道行く人

は行手の危険を恐て自然と、進み行く足にもぶるであらうが例小さな道にしてもガラス片一つないとすれば、幾十町あらうと平氣である此れは皆私達の心掛一つで種々に變化される小さな一片のガラスを見て拾わなかつた。それが爲土足の農夫がケガをした。と云ふと、その道は道としての何等價値もない様に聞える。これが公德心を重じて拾たならばどんな人も危険を感じないばかりでなく拾た其の人はどんなに得意でありませう。私達はこのやうなさゝいな事でも道路を愛護する事は唯たんに自分のみと思つて満足させるだけでなく延ては祖先にたいする唯一の報恩であります

私の村の改良道路

長崎縣北松浦郡大野尋常小學校

尋六 豊福ふみか

今年の春に私の村の道路が立派に出来上りました。今までは狭いウネウネした小道で皆んなの難儀が一と通りで

はありませんでしたが。今度出来た道路は以前の道とは、とても比べものにならない程立派で幅も廣く曲りも大きく其の上急な坂が無いので山の上まで安々と馬車や自動車が登場します、今まで夢であつた山の上の人達までが車の輪音を聞く事が出来るし材木や薪木等もドンドン運ばれますので何だか村が一ぺんに明るくなつたやうな氣持です。

下里道路愛護團

兵庫縣加西郡下里尋常高等小學校

高二 前田哲男

我等の村には人に便利をあたえるためいろいろの事があるしきしてあるが、その中に少年の作業としては社會奉仕である。社會奉仕の中で最もよくするのは道路愛護である。その團體を道路愛護團といふ。團體は皆はんゐがある。一部落一部落づゝに支部のやうなそしきをして各自仕事にあたる。下里村の道路愛護團は年々立派に發達して、今では

皆も力一ばい働きのため村のためにつくす眞心をもつて共同で其の仕事にあたる。團員は尋常三年生以上男女二組である。此の團體がそしきされてからはかれこれ數年ではあるが其の發展ぶりはめざましいものである。作業日は日曜で大部分は朝八時頃までにする。仕事時間は一、二時間くらいである。近年は毎年縣から賞状をいただく、此れは團體の光榮である。

其他社會奉仕作業は神社佛閣の掃除やみぞさらい等すべて村の發展のため行ふいろ／＼な行事である。

道路を廣くして効果が有

つた事

廣島縣安佐郡久地村小學校

廣澤 一郎

山間にある私等の村も大變交通が便利になつて來たと思ひますが、まだ所々には不便な土地もあります。これらも

何れ廣くなつて行く事せう。又私等の小さい時代にはまだ立派な道路はなかつたのです。道路と言つても、一間か一間半位いな小さな道でしたから今頃の自動車は勿論、馬車までも通れませんでした。それに今までは小さな道であつたのが今度は大きくなつて縣道となつたものですから自動車も馬車も平氣の平左で通つてゐますが、私の家の前が廻り角で、その下が川であるから其處の廻り角が廣くないのですから自動車や馬車等がよく行止つては困るのです。その度に下から來た方がバックをする。それはなぜかと言ふと下の方が廣い所迄が近いし上から來たのは遠いから何うしても下へバックをする之等は自動車だからよいが、馬車と自動車が行合ふ時が一番困ります。馬車が下から來た時には馬車の方は荷を一パイ積んでゐるやら自動車は上から來たものだから『君自動車だから遠いのはこらへてバックをして呉たまへ』いや君の方が近いのだからバックしてくれ呉たまへ』こんな事を言つてゐる中に何うしても馬車の方が負けては、バックをしてゐました。私はこん

な事を見る度に馬の方が可愛相になると同時に此の廻り角が廣ければこんな事なんかないものだらうと思つてゐました前にも話した通り其處の下に川があつてその川は三間位ですが大雨が降つたらすぐ大水が出る用なので出た度に道路がくずれるのです、こうなつたら自動車も馬車も通れなくなるこんな事が毎年の様に續いたものですから村役場の方に知れたのでせう。其處の所が廣くなる事になつたのです。昨年工事に着手して二ヶ月位で出来上りました。私はこうして道路が廣くなると自動車も何も便利になつて又人も安心して通れるので私は道路が改良されて多額の金を費やしたけれ共それ以上に効果は有つたと今でもしみじみ感じました。

道路のおかげ

神奈川縣高座郡綾瀬尋常高等小學校

高一 山田 ハツ

「此の頃の學校の子供は樂だらう。道が改良されて歩きよくなつたから」とおかあさんはおつしやいます。本當に私達が一年生の時からの事を思ひ出して見ると道路は實によく改良されました。おかあさんのお話によると「私達の學校へ通ふ縣道は昔曲りくねつて細い畑道のやうなものであつた」と言はれます。それが今では自動車がすれあふ所でも私達は道の端によけてゐれば危いことはありません。

學校のゆきよに道路工夫が毎日々々元氣につるはしをふるつて道をなほして下さる姿は私達にとつて實に有難いものです。雨が降つても風が吹いても朝早くからこつんくと氣持のよいつるはしの音をひびかせながら道をあちらこちら廻つてなほして居られます。登校の時の水たまりも歸りには土や石で平にうめてありますので、駈けても水のとぶやうな事はありません。

小さい一年生が元氣に學校に通ふことの出来るのも道路のおかげ、私達が朝家を出て来る時間が少しおくれても早足で来れば間に合ふのも道路のおかげです。

此の立派な道路を私達は愛護して益々立派な道路にした
ひと思ひます。

改良された道路を大切に

香川県三豊郡詫間尋常高等小學校

第六 磯崎 カツミ

せまかつた道路が廣く改良されたので、自動車や車が來
ても左さへ通つてゐれば今更よける必要もなくなつたので
道行く人々は安心して通行することが出来るやうになりま
した。又雨降りにはこれは道路を通つてゐると下駄のはな
をを切つたり着物のすその方に土がついたりしてゐたもの
が、改良されてさういふうれひがなくなりました。

此の道路は我々國民の爲につくつた道路であるからいた
づらに道路をほつたり、ちりや、あくたを捨てたりがらすの
われを捨てたりすると、大勢のめいわくになるから御互に
捨てないやうに心掛ませう。そうして何時通つても氣持の

よい道路にしませう。我々は道路なくては一日も交通する
ことが出来ないものであるから大勢の爲自分の爲御互に道路
を大切にしませう。

道 路

福岡縣嘉穂郡二瀬町片島尋常高等小學校

高一 松 永 アヤ子

私の家のとなりはあき屋になつているので、道の前には
草が一つばい生えています。お母さんは人が通つたら見苦
しいからと言つて、草を取つていなさいました。又何時か
大水が出た時は舊道の方は道がこはれて低いから、すぐ水
が入つて來ました。私たちは歸られないので、新道の方を
通つて來ました。途中まで來た時私達は、又困つてしまひ
ました。何故なら道が低かつたためか水が一ぱい新道まで
もはいつていました。私たちは山の上の方に廻つて歸りま
した。

其の時私の後で、何か變な音がしましたので後を見ますと自動車がかん落した所にはまつてしまつて動けなくてじつとまつていました。中に乗つてゐる人もある様でしたが、大變困つていらつしやいました。

其の時私は「こんなにかん落した所は、早くなほさなければたくさんの損害をするだらう」と考へました。又よくパシクする自轉車の損害でも防ぐことが出来たら、國家的に考へてもどんなに益になるだらうと考へさせられました。

一日も早く國民が目醒めて、道を改善し、道を愛する人にならねばいけないと思ひました。

思出の道路改良

北海道空知郡岩見澤町西川向

善 徳 清 一

今日故老の話によると、約七十年前の北海道には人間のあつた道もほんのわづかよりなかつたので、この人達が

かういふふうにはたらいで道をつけました。はたらいでた所は、無澤といふ峠の上でした。今そこは、その人達のおかげでりつばな道路になつてゐます。この時の人達のはたらきで、はじめに函館から札幌までりつばな道路がついたので、當時の札幌は鬱蒼とした原始林に蔽はれ、豊平、伏籠、兩川の支流細流にして、鮭は躍り熊は嘯き、鹿は跳ね真に原始のまゝの世界であつた。それにはたらいた人の數は毎日々々はたらいたのをくはへると、七十四萬千四百三十五人になりました。そして二百五十一萬圓もの大金がかかりました。僕達が道路がなかつたらどんなに不便でせう。道のないさゝやぶに入つた時のことをさうさうしてごらんさい。又ふどきで道にまよつた時のことをさうさうしてごらんさい。當時馬少く櫓未だ無かつた唯一の方法は、人の脊に荷ふ事だけである。かくて幾百人かの列をなし最初味噌樽を背負ひたる者其の後に二斗米を背負つた者達が續いた。しかもその俵の上には積雪に蔽はれて探すに食なき鳥が止まつて追へどもく立去らない。

北海道はどことなく道がなかつたのです。又今日の札幌の廣潤なる道路區畫整然たる街並各所建物の位置總てがこの設計の上に立つてゐる事を見ることが出来るのです。又積雪と闘うてしかもその熱烈なる意氣と雄圖は北方文化の中心地札幌市の礎を永久に物語っています若き我等は道路改良に盡そうでは有ませんか。

私の見た事

岡山縣都窪郡妹尾町
妹島尋常小學校

淺越 鈴子

私の家の前には昨年五月に、新道路が出来ました。これまで自動車はすれちがうのに大へん困つて居ました。

そして丁度道の真中に箕島神社が有つて、東南の角は百二十度ぐらゐの角度に成つて居て、自動車など度々宮の土手に乗り上たり一丈も有る田の中に墜落したり自轉車なんかは、毎日の様に衝突して居りました。時々大きな音がしま

すと、自動車が衝突して居ました。又私等が學校に行く時にも一寸も油断は出来ません。度々友達が自轉車に、突きとばされた事も有りました。それで今ではお宮の裏がわの土手を真直ぐに切つて、學校の前まで廣い道をつけたので、今では自轉車で轉んだのも見うけません。

村では皆んな、大喜びで、感謝してゐる次第です。

私ども、學校に行くのに、安心して行ける様に成りました。

私し達は皆んなで道を大切に守らねばならぬと思ひます。道が悪ければ、お互に皆んな困る事ですから。

道路奉仕

島根縣簸川郡稗原村尋常高等小學校

高一 石 倉 一 雄

朝學校にきて始まるまでにひまがあると先生はすぐ四五人の者をつれて鉞やつるはしや土を持ち、はこやちりとり

を持つて出て道路の水が三、四寸もあるこわれた道を側に
ある石や道路の崩れた土を持つて行つて水たまりの所へや
つてなほして歸る時、後を見ると僕等が働いたのがよく見
へる。自動車がかみから出ると後は又へこんで道が悪くな
る明日なほすやうにすると次第に悪い道がよくなる。先生
の道路の話をされる時はきつとあれは縣の道路だから縣の
人がなほされるといふのでは少しも道路がよくならない。
君等が出てなほさねばいけない。といつて聞かせられま
す。道路がよくなると其の村が交通がよくなり産業の上か
らみても交通の上から見てもその村が發達して來ます。

山道の修善

岐阜縣土岐郡釜戸村釜戸尋常高等小學校

伊藤清吉

がら／＼と谷合に響き渡る荷車の音、わだちどれも皆樂
しさに思はれる。

だが、ふり反へつて見ると五六年前には、こんな樂しさ
うな車の音を聞く事は出來得なかつた。それも其のはず、
此の山道は五六年前には、こんな立派な道ではなく、通る
人の歩行さへ困難な細道であつた。それが長年の苦心をさ
とつた我が三千數百の釜戸村民は、山道修繕の仕事を縣に
願ひゆるしを得、これを各區で負擔し、補助を受けて事業
に着手したのである。朝は早くより、夜遅くまで働いた。
忙しい時期は休み、日役を組織して汗水流して働いた。其
の間二ヶ年、ようやくにして完成を見るに至つた。其の利
益の大なる事は、今さら言ふまでもないのであります。
美くしい緑の中を、遙かに眼界のはてまで續く二間道こ
そ釜戸村民の汗の結晶に外ならぬのであります。

× × × × × × × ×